



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

Rotary

東京臨海ロータリークラブ



クラブ会長ターゲット
「ロータリアンらしい親睦と奉仕」
"THE ROTARIAN'S
FRIENDSHIP AND SERVICES"
2017-2018年度
東京臨海ロータリークラブ会長
栗山 義広



国際ロータリーテーマ 2018年5月30日【第1098回】
「ロータリー:変化をもたらす」
"ROTARY:
MAKING A DIFFERENCE"
2017-2018年度
国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー
創 立 : 1994年8月8日
会 長 : 栗山 義 広
副 会 長 : 本 多 信 雄
幹 事 : 高 橋 映 治
会報委員長 : 飯 塚 憲 貴

5月30日の卓話	5月23日の出席率	6月6日の卓話
『イニシエーションスピーチ』 当クラブ会員 篠塚慎之介様	会員在籍者数 37名 会員出席者数 25名 会員欠席者数 12名 本日の出席率 69.44% 前々回訂正出席率 81.08%	『3代続く江戸川のくず餅会社の 歴史と今後』 株式会社 山信食産 代表取締役 小山信太郎様

《第1097回例会報告 2018年5月23日》

司会：佐藤輝彦会員

- 点鐘：栗山会長
- ロータリーソング斉唱
：ソングリーダー 尾身委員
- 「日も風も星も」
- 「四つのテスト」斉唱
- 「ロータリーの目的」
東京臨海 RCVer. 唱和：本多副会長
- 来賓・ゲストスピーカー紹介：栗山会長
ROTEX 江原珠李様
- 会長報告・スピーチ：栗山会長



・本日は、青少年奉仕部門フォーラム開催の為卓話はなく、例会を1時で終了させて頂きます。
・先週土曜日、佐藤次期幹事と、オーストラリアのセントラルコースト市と江戸川区の姉妹都市の盟約記念祝賀会に行ってきました。青少年の翼の派遣で連携している3つの都市のひとつで、すばらしい都市でした。
・私の会社の話ですが、次期のリーダー候補を集め、3日間禅寺道場に送り、帰ってきた後に報告を受けましたが、受けた後なのでモチベーションがかなり高くなり、そのモチベーションを保つのが私たち経営者の仕事だと思いました。人の幸せは、健康とお金と必要とされること。その中で、必要とされるコミュニティが自分にとって重要になり、モチベーションがあがることに繋がるようです。様々な規模の経営者がいますが、社員の生活や幸せを考えることだけでも社長の仕事になるのではないかと思います。人材不足の今だからこそ、大事なことだと思いました。

■ 幹事報告：高橋幹事

- ・今年度最終夜間例会は、6月29日（金）18時から開催致します。是非、奥様もお誘い頂き会員皆様の出席をお願い致します。尚、6月27日（水）は、例会はありません。
- ・東京葛飾東 RC からのご連絡です。



次年度7月4日（水）より、例会日は第1週、第3週、第5週の水曜日 18：30～19：30 になります。

また、例会場は、「須田」に変更になります。
「須田」葛飾区亀有 3-20-14 電話 03-3602-4578
(JR 常磐線 亀有駅 南口下車 徒歩3分)

- ・ガバナー事務所からの連絡です。
ガバナー月信5月号に誤植がありました。深くお詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。
(誤) 石田梅安 → (正) 石田梅岩
国際ロータリー第2580地区ウェブサイトのガバナー月信のページにデータ版(PDF版)を訂正し、アップロード致しました。
<http://www.rid2580.org/monthly/>



■ 委員会報告

- ・クラブ研修リーダー（齊藤委員）
商工会議所の建築協議会のミーティングに出席してきました。働き方改革の法案が通り、3年後変わります。36協定に則り、社員に働きやすい環境をつくるが必要になる。ハラスメントもかなりの問題になっているという話もあります。

また今話題のアメリカンフットボールの話ですが、RCの四つのテストに「みんなに公平か」とあります。これは英語だと「フェア」とされています。これも考えさせられます。

また次年度は現栗山会長がクラブ研修リーダーになりますので、大変楽しみです。

・青少年奉仕委員会（篠塚仁委員長）

本日例会後1:05より、青少年奉仕部門フォーラムを開催致します。会員皆様のご出席を宜しくお願い致します。



・地引ゴルフ幹事（司会者代読）

東京臨海 RC 会長杯 ゴルフコンペを6月30日（土）ニューヴェルゴルフ倶楽部で開催致します。奮ってご参加下さい。

・会員増強委員会（佐藤輝彦委員長）

「会員全員にご参集頂いての会員増強委員会」を次週5月30日（水）例会前11:30～12:00 例会場にて開催させて頂きます

で、会員皆様の出席をお願い致します。目標 40 名を必達です！

■ 佐藤大輔次年度幹事

次年度各委員会の方針と計画書の提出をお願い致します。締切は、5 月末日ですので宜しくお願い致します。



■ 出席報告：榎本委員

⇒詳細は 1 頁バナー下に掲載

■ ニコニコ BOX 報告：小松委員

(ご意向) 本日の青少年奉仕フォーラム宜しくお願い致します。

：栗山会長、本多副会長、高橋幹事、斉藤会員、佐藤大輔会員、須藤会員、井上会員、山田会員、佐藤正樹会員、佐久間栄一会員、田村会員、坂本秀夫会員、尾身会員、入澤会員、西野会員、笹本会員、大澤会員、杉浦会員、飯塚会員、小松会員

【20 件 46,000 円 累計 1,887,170 円】

■ 点鐘・閉会：栗山会長

番外編：<今日のメニュー(5月23日)>



小鉢 茄子合煮 オクラ
お造り 初鰹土佐造り 鮪
焼物 銀鱈西京焼き
煮合せ 豚角煮
食事 白飯 赤出汁 香の物
水菓子 本日のデザート

(東武ホテルレバント東京 和食調理長 長嶺常昭様)

今週のメイクアップ(5/16~5/23)

本多信雄会員(会長エレクト・次期米山委員長セミナー)
今井忠会員(第 2790 地区 RLI)
入澤昭彦会員(R 財団奨学生オリエンテーション壮行会)
篠塚仁会員(東京ピースウイング REC、会長エレクト・次期米山委員長セミナー)



『青少年奉仕部門フォーラム』

日時 2018 年 5 月 23 日 (水) 1:05~2:35

会場 東武ホテルレバント東京 例会場

総合担当：青少年奉仕委員長 篠塚仁様

栗山会長

みなさん日ごろロータリー実践をしていると思いますが、青少年部門に関しては勉強不足ではないでしょうか。私もそうで、いまやっと少しずつ見えてきました。東京臨海 RC でいえば、前回の青少年交換留学生のアマダさんを受け入れた際、笹本会員、佐久間会員のお父さん、篠塚会員、江原さんのお母さんたちに、受け入れた家庭にどんな負担があるのか？と気づかされました。気遣い、時間にもすごい大変負担だと、勉強する中で知っていました。わたしにも青少年奉仕に関わる世代の娘がいます。ほかの家庭に行って何が出来るのか不安、うちのお嬢さまでは無理だと想像するのに容易です。そんな中、江原さんは立派にやり遂げたので、本日はそのお話をお聞きしたいとおもいます。19 歳の女の子が何になりたいのか、こんな大きな変化が次々に来る世の中なので難しいとおもいますが、たのしみです。ちなみに、うちの娘は丸の内の OL になりたいと話しています。職業じゃないけど、ステータスが欲しいのだと思います。江原さんと、また社会奉仕委員長の田村会員のオレンジボールの話をお聞きして勉強したいと思います。

篠塚委員長

今年度青少年奉仕委員長をやらせていただき、栗山会長の薦めに従い、勉強して資料を作成しました。スローガンをはじめて知りました。各ロータリアンは青少年の模範、です。

主な活動は、5 つあり、それぞれに目的があります(次ページ資料を参照) いまさらですが、ここ数日間勉強して学び、私なりにまとめてみました。インターアクト、ローターアクトなども、活動内容のひとつです。青少年が善良な市民精神を鼓舞するような、ロータリー活動を通して、世界に通用する人材を育成しましょう、という気持ちを持ちながら活動すると、ロータリー活動が自分ごとになると思います。

江原さん(現 ROTEX・2015~2016 年青少年交換留学生)

2015 年から 2016 年でメキシコに留学させていただきました。久しぶりの東京臨海 RC での卓話で緊張していますが、よろしくお願ひいたします。

青少年交換プログラムを通して感じたこと、今後役立てたいこととお話します。

私はメキシコに派遣されました。メキシコについて皆さんはご存知ですか？私はまったくの無知の状態で行って来ました。派遣された都市は、クエブラという、メキシコシティから車で 2 時間かかるところです。町全体が世界遺産に指定され、町並みがきれいで、そして 2100m と標高が高いため、朝



と夜は涼しく、メキシコの割には大変過ごしやすかったです。そのため、11月は風邪をひきました。みんなから暑くて大変といわれていたが・・・。活火山も多く、実際滞在中に噴火していい経験が出来ました。



1年間の交換留学は、長いようで、大変短いです。あっという間です。帰国するときは、あともう1年あってもよかったと思いました。留学を通して、言語能力を得ただけでなく、思い出と貴重な体験、それにより自分自身成長できました。以前の私は、内気で消極的で静かで、ほかの人が話す様々な体験談がうらやましく、そんな自分を変わりたくて青少年交換に申込みしました。変わりたくて申し込んだんですが、何故それが留学だったのかは、いまもわかりません。しかし、その思いつきがこの結果に繋がったのでよかったです。やるまえから無理無理！と言って、平坦な道ばかり選んでいましたが、留学してからポジティブに変わっていきました。メキシコでは毎日嵐のような生活で、普通じゃないことばかりで大変でしたが、その経験があり、今では強い意思が身に着いたと思います。メキシコでは毎日すごく忙しくて、過労死するかと思いましたが、つらいことや大変なことが無いと人って変われないんだと思いました。試練というのは、人が成長するために与えた神様のプレゼントなんだ、だからとりあえず1週間頑張ろう、それを繰り返し3ヶ月が峠で、それを乗り越えればとローテックスの先輩からアドバイスをもらっていました。実際やはり、3ヶ月で楽しくなってきました。訪れたときは、絶対途中で帰国するだろうと思っていた。これも周囲の方の支えなどがありうまく行ったと思います。

留学したときに、周囲の人の優しさと、メキシコの人の考え方に学びました。すぐあきらめる自分が、メキシコはポジティブで、みなさんの想像以上に歌って踊って、いつもパーティーしています。真面目な場面なおちやらかしたり、心配しましたが考え込んでいる自分を応援してくれ、励まされ、前向きに感化され、明るくなっていきました。環境を変えても、1年間過ぎさなければ考え方も変わりません。環境が変われば自分も変わると思いました。そのときにメキシコの人に、留学しているんだから日本で出来ない変わったことをやりな、と言われましたが、メキシコに住んでいることでも変わったことしてるのに、と疑問でした。とりあえず目の前のことをやってみようとして行動したら、徐々に自分に自信がついていき、前の自分では考えられないことに自分自身が感動しました。これが、この青少年交換プログラムの肝なんだと

思いました。

自分が楽しただけで、見た目も変わったが、中身は変わっていないのではないかとあせりましたが、周囲から社会的になった、明るくなった、といわれ、自分の成長を実感しました。変化して行き、留学してよかったです。RCの青少年交換留学プログラムがあって変わり、それを機に卓話したり、大学行ったり。貴重な体験をさせて頂いたと感謝しています。

今後は、将来はスペイン語と活発性を活かした職業に尽きたいと思います。大学生生活があと2年あるので挑戦していきたいと思っています。

ローテックス活動で、今までは支えられていたが、いまは支えている。当然ですがかなり大変です。派遣させてもらっているだけで恩返しできていなかったが、ローテックス活動を通して恩返しでき、大変だけど、すこしずつ恩返しできています。毎月お茶事の教室があり、その担当をしています。まとめるのが大変ですが、ローテックスをやれていると実感しています。支えてくれた方々にすこしずつでもいいので恩返ししたいです。もちろん親も。支えてくれた人たちの人生を変えられるようないいことができたらいいと思います。

留学をして、大変なこともあったが、自分のためになったことばかり。いいプログラムなのでもっと多くの人に知ってもらいたい。この青少年交換プログラムを広める活動をしたいと思っています。

田村社会奉仕委員長

まずはオレンジボール

東京臨海 RC 旗という立派な旗を作成した。

少年野球は選手は4~6年、高学年が殆ど。

高学年に光が当たる。オレンジボールの支援

は低学年、1~3年生までを支援。優勝旗、

カップ、盾を作成し、寄付し、支援している。

社会奉仕委員長を

仰せつかり、開会式11/11に行われ、決勝戦12/2、天候の影響も

あり、試合を消化しました。参加チームは16チーム。当クラブ会

員 村社会員が監督のチームも参加、決勝戦は葛西ファイターズ

と、村社会員の白鷺チームの試合で、これが楽しかった。子ども

も親も、非常に真剣。逆転もあり、悔しくて涙する子どもたちも

いて、それをみてさらに感動。優勝、準優勝、三位の2チームが

みえ、この表彰式で感じたのが、この事業は参加した中でよかつた、

父兄の方々がご一緒して、当クラブの旗をバックネットに飾

ってあり、みなさんの認知度が上がり、事業を支援しているおかげ

で低学年なのに試合に出れて、楽しい経験ができたとお褒めの

言葉をいただいた。青少年の奉仕活動、社会奉仕活動、当クラブ

独自の奉仕活動として継続的にお願いしたいと思っています。前年度

で費用はすこしかかりましたが、今年度はボールやメダルは寄付

のみ、3位の方にメダルが無かったので次年度は贈呈してあげると

良いと思います。みなさんの益々の支援と奉仕活動の理解をお

願ひします。ぜひ参加し、直に子どもたちと、周りの大人たち、

学童少年連盟、審判、ご父兄、試合に参加していただき応援、支

援の活動を目の当たりにすると実感、応援したい気持ちになる。

次年度の活動にお役に立てたらいいと思います。

次年度はロータリーの友の地区代表員、2580地区の代表。色々

参加する機会が増えます。オリエンテーションもあり、このオレンジ

ボールなどの活動を優先的に友に掲載して、東京臨海 RC の奉

仕活動を推薦したいと思います。投稿記事も連絡いただければ、

優先的に掲載します。

佐藤輝彦会員

初海外25歳のときの新婚旅行で怖かった体験がありました。若いころから良い体験が出来てうらやましいです。

オレンジボール大会も決勝戦が感動しました。

佐藤正樹会員

大変大人の女性になっておられ、感慨深いです。語学力、内面の成長もあり、このプログラムは改めてすばらしいと思いました。

私も野球少年でした。子どもたち親御さんの目からすばらしい活動だと実感しました。

飯塚会員

青少年交換留学は、異文化交流。行きたい国にいけない、だからこそまっさらな状態で学べるのが大きい。親善大使として今後活動してもらいたい。まさに江原さんがそれを体現してくれた。もっとこのすばらしいプログラムも認知を上げたい。

オレンジボールは同じマンションに参加者がおり、ロータリークラブを良い意味で知ってもらえ、良い活動だったと思う。

田村会員

ローテックスからロータリアンになってもらいたい、そんな人材の育成につながる。ご自身の子供、お孫さんにもぜひ参加してもらいたい。世界の架け橋になってもらいたい。当クラブはスペイン語圏の国が多く、世界でもスペイン語は重要。ぜひ活躍してほしい。

井上会員

私には無理な活動をしたことがすばらしい。勉強したい。結婚したい。子ども生まれたら体験させたい。

須藤会員

不安はありましたか？ 楽観になった！ 知らない国に行くのはすごい勇氣です。私の家族も行って来て、良い国だと話をしていた。江原さんを思い出しました。これからもこれに関係した仕事を目指してほしい。そして世の中に貢献できる人になってほしいと思います。

新小岩でもオレンジボールが評判になっています。誇らしかったです。子どもたちの育成に頑張ってください。

笹本会員

4ヶ月3家族だったとお聞きした。日本では3ヶ月4家族。語学プラスアルファを活かして就職してほしいと思う。

ホストファミリーと今も仲が良い、観光の案内もされている。すばらしい。わたしは、アマンダとも良い関係を築いている。

石川緑さんのお陰でアマンダとも良い関係を築けた。ぜひ江原さんもそのように貢献してほしい。

効果的な、RCとしての奉仕活動なオレンジボールは誇らしい。

佐久間栄一会員

お姉さんになりましたね。報告書読んでいました。つらかったですね。涙しながら呼んでいた記憶があります。そこでも3ヶ月で変わったのを実感していました。現地はやさしく感じないが、それを理解できたのがこの成長に繋がったと思う。友達も良かった。それも大事。これからは顔を出して、色々話をしてください。ぜひ結婚式にも参加させてください。おかあさんにも感謝お伝え下さい。

入澤会員

受け入れ家族を決めるときに、江原さんのお母さんに受け入れて頂き、大変感謝している。RIの事業の中でも変わっている。親善大使などもあり、すばらしい事業。これで終わらず、今後とも関わって欲しいと思う。私も英語を学びたい。

齊藤会員

大人になり、名刺交換してしまひすみません。やはり留学というのはすばらしい成長を得られると思った。私たちのクラブは多くの受け入れをしている。派遣も送り出し、帰国すると留年する場合もあるため、難しい。またカウンセラーを務めた会員が辞めている。私たちは、もっとしっかりしないといけない。若い会員が多いので、もっと身近に感じて活動してほしい。

地震は大変。留学先が震源地だった。みんな無事だった。すごく心配した。基本的にスペイン語で、英語は通じない。

講評:高橋幹事

青少年奉仕にささげた12年だった。会長になるまで。地区の青少年奉仕委員長のとときに江原さんとお会いした。ローターアクトにも参加、母校の愛国学園。オリンピック研修センターで、スポンサークラブとして挨拶して頂いた。派遣国が決まったときも隣だった。そんなに積極的ではなく、話しかけてくれたときも驚いた。すばらしいプログラムだった。入澤年度で、受け入れと派遣を両方やった。それまで断っていたから

同時になった。来年も RYLA がはじまるので、青少年交換が縮小する恐れもある。ホストファミリーも自クラブでやる必要はない。ボランティアの家庭もある。全てをやらないのは問題あるが、いまは比較的負担が少なくなっている。

オレンジボールは青少年なのか、社会奉仕なのか、境目がわかりずらいが、元々青少年奉仕が社会奉仕の一部門だったので、完全に離す、区別する必要はないと思う。その立ち上げに関わってきた。

インターアクト、ローターアクト、青少年交換プログラム(文化親善大使。派遣前に1年間日本のことを勉強、1年間日本の文化を紹介してきて、3年間留学生のお世話をし、卒業となる。)、そして来年度から RYLA。見込みある30歳未満を宿舎して育てる。毎年あるわけではない。青少年とは、0歳児を含めた30歳未満が対象。母子も対象。お金だけ出して青少年にやらせるのではなく、一緒にやること。それだけではなく、己をつつしみ青少年指導の資格を身につけること。それから。模範となれるような人にならないといけない。わたしも夜12時に帰るようになった。

青少年奉仕のスローガン、各ロータリアンは青少年の模範となるように、己をつつしみスキルを養ってください。

閉会の挨拶:本多副会長

お疲れ様でした。

開会当初は多く参加者がいたが、途中抜けて、最後は中心を担う会員が残ってしまったが、残って頂いた方々、有難うございました。

江原さんにひとつ。私の会社は外国人研修制度を活かし、雇っている。この社会の情勢で、かなりの人数が増えている。弊社は30数名ですが、参加している組合では中国人と韓国人を登録しているが、300人一度に雇用する会社が加盟してきて、やはりニーズがある、中小企業大手とも、外国人と提携していかないといけない。語学力が生きる世の中になるのは明らか。相当地位が高くなる。スペイン語もマルチに話せ、日本の企業の風習を伝えられるスキルが重宝されると思う。いままでやったことが、今までの通訳の倍以上の価値がある人材になれる可能性があると思う。

頭が柔らかいうちに多くのことを学び、受け入れ、成長してほしい。

ちなみに佐藤正樹会員は英会話スクールに通って、英語を話せるように勉強している。これができると、みんなやらないといけない。

このプログラムをとおして人材を育成するとともに、グローバルな人材の世の中には私たち企業も成長しないといけないと実感する。新しいスキームも生み出す必要がある。

参加者が時間の経過で減り残念でしたが、大変中身の濃いフォーラムが開催できたと思う。

みなさん今日一日ありがとうございました。